

き た ひ な きょうづかあと
「北日名経塚跡」 町指定（史跡）

所在地：大字坂城 北日名 所有者：個人 指定：昭和48年12月16日

この経塚は、明治29年（1896）10月18日に、通称権現山にある十三度社という小祠の建てかえ整地の際に発見されました。その時出土した遺物は、当時の記録によれば、

1. 四分一壺 高さ8寸 直径5寸 （保元2年（1157）銘 鑄銅製経筒）
2. 白磁 小皿1枚 （白磁輪花小皿）
小壺2個 （白磁合子）
3. 鏡 7面 （うち3面は宮内省へ献納）
4. 刀子 42本
5. 丁子 破片1個 （鑄鉄製片口）

等で、現在東京国立博物館に保管されています。

この経塚発掘当時経巻はすでに腐食し、経筒の底に一握りの真黒な朱の塊があったといいます。

なお、伴出した陶器は中国からの船載の青白磁で、宋時代のものです。

